

令和元年度 第2回奈良県キャラバン・メイト養成研修 プログラム

会場:リサイクル館かしはら 3階 研修室A及びB
開催日:令和元年11月15日(金)

午前の部 (9:40～12:10)			
内 容	目 的	時間	テキストの該当する章・講義担当者
9:40～10:00 I 開会挨拶・オリエンテーション ○認知症をめぐる現状・奈良県の認知症施策について ○認知症サポーターキャラバンとは ○研修のねらい	① キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ② 地域で支える認知症支援事業とは何か、今後の事業展開の趣旨について理解し、事業の位置づけを確認する。	20分	キャラバン・メイト養成テキスト 序章 奈良県福祉医療部医療・介護保険局 地域包括ケア推進室
10:00～12:10 II 認知症サポーターに伝えたいこと 1. 認知症の基礎知識 ○ 認知症とは ○ 認知症の主な症状 ○ 中核症状・行動・心理症状 ○ 認知症の診断・治療 ・早期診断・早期治療の重要性 ○ 認知症の人への対応 ○ 認知症の予防についての考えかた	①認知症とはどういう病気なのかを知り、正しく理論的に理解する。 ②認知症サポーター養成講座でサポーターへ分かりやすく伝えられるようにする。	85分	キャラバン・メイト養成テキスト 第1章 サポーター養成講座標準教材 第1章 社会福祉法人太樹会 特別養護老人ホーム 和里(にこり) 岩岡 克己 氏 (奈良県認知症介護指導者)
(10分間休憩)			
2. 介護家族の心理的理解 ○認知症の人と接するときの心がまえ ○介護者の気持ちの理解 ○介護者への支援	認知症の人や介護をしている家族の気持ちを理解し、どのような支援をすればよいか考える。	35分	よしかわ事務所 代表 吉川 昇平 氏 (奈良県認知症介護指導者)
(昼食休憩 12:10～13:10)			
午後の部 (13:10～16:50)			
内 容	目 的	時間	テキストの該当する章・講義担当者
13:10～14:20 III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1. 認知症の人を地域で支える ○ 認知症の人を支えるネットワーク ・公的なサービス、相談窓口 ・地域のサービス、相談窓口 ・地域の社会資源 ・地域包括ケアシステムについて ○ 認知症サポーターとは ○ 認知症サポーターができること (地域でできること、働く場面でできること 児童・生徒などの場合) 2. 認知症サポーター養成講座の展開方法 ○ キャラバン・メイトの役割 ○ サポーター養成講座開催の流れ ○ サポーター養成講座の概要 ○ サポーター養成の取組事例の紹介	①認知症の人を支える奈良県下の社会資源やネットワークについて学ぶ。 ②近隣や地域で起きている様々な問題について、様々な状況を想定し、どこの窓口に繋ぐのが適切か考える。 ③認知症の人を地域で支える視点を学ぶ。 ④キャラバン・メイトの役割を確認し、認知症サポーター養成講座の展開について、協力体制や企画などの実務、講座のポイントなど運営方法について学ぶ。	70分	キャラバン・メイト養成テキスト 第3章 サポーター養成講座標準教材 第2章 ウェルコンサル株式会社 渡辺 健一 氏 (奈良県認知症介護指導者) 御所市高齢対策課地域包括支援センター
(適宜休憩)			
14:20～16:30 演習(グループワーク) 「講座の対象者について考えよう」 ○受講対象者の分類 A地域住民／B職域／C学校など 「対象者に合わせたプログラムを作ろう」 ○グループ発表 ○まとめ と 講評	①対象者ごとに基本情報を整理する。 (分類ごとの特徴をおさえた講座にするため) ②実際の講座開催を想定して、プログラムの作り方を体験的に学ぶ。	130分	キャラバン・メイト養成テキスト 第3章 サポーター養成講座標準教材 第2章 ウェルコンサル株式会社 渡辺 健一 氏 (奈良県認知症介護指導者)
16:30～16:50 IV 事務連絡 1. キャラバン・メイトの登録について 2. 質疑応答・アンケート記入・回収 3. 修了証・オレンジリング授与	登録・講座開催までの流れ等についての事務連絡	20分	奈良県福祉医療部医療・介護保険局 地域包括ケア推進室
16:50 閉 会			